

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜 宮崎県（国内51例目）で確認！

【農場概要】 所在地：宮崎県都城市 ※宮崎県今季12例目
飼養状況：肉用鶏（約3.9万羽）

【経緯】

2月24日 死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、立入検査を実施、簡易検査陽性
2月25日 遺伝子検査の結果、H5亜型、疑似患畜と確認

1日の死亡率が前21日平均の2倍以上



家畜保健衛生所にご連絡ください

（その他、下記のような場合もご連絡ください）

- ・5羽以上の鶏がまとまってうずくまっている、死んでいる
- ・脚部の皮下出血、肉垂の出血・壊死、突然の沈うつといった症状が見られる

引き続き飼養衛生管理基準を遵守し、防対策の再徹底をお願いします。

- 1 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒
- 2 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 3 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒
- 4 家きん舎に立ち入る者の手指消毒
- 5 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- 6 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- 7 ねずみ及び害虫の駆除
- 8 飲用に適した水の給与

いつもと様子が違う時は、早期の通報をお願いします。

ロシアでは高病原性鳥インフルエンザH5N8亜型ウイルスの鳥からヒトへの感染が確認されました。なおロシア政府の発表ではヒトからヒトへの感染は確認されていないとのことです。

国内では、これまでにH5N8亜型ウイルスに限らずヒトが鳥インフルエンザに感染した事例はありませんが、ヒトへの感染防止の観点からも、改めて早期発見・早期通報及びウイルスの拡散防止をお願いします。

中濃家畜保健衛生所（高病原性鳥インフルエンザ相談窓口）

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください。

つながらない場合は0574-25-3484へ。土日・祝日、閉庁時も通報出来ます。